

# 技能評価システム移転促進事業 (SESPP)

## 事業実施報告書【カンボジア】





担当講師	萩生田 幸男（東芝インフラ機器テクノロジー株式会社）
実施期間	2021年10月18日（月）～10月22日（金）
実施場所 【リモート開催】	カンボジア王国 プノンペン市 産業技術大学 (ITI) 日本国 東京都八王子市 スタジオオルウェイズ
研修	技能評価者講習 (SAT)
実施職種	配電盤制御盤組立て作業 2 級

2021年11月

## 結果概要

1. 対象者数：SAT 評価者数 8 名 / 修了者数 8 名

### 2. 日程

日時	指導内容
<p>10月18日（月） 8:30～16:30 （全て現地時間）</p>	<p>【オリエンテーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①技能評価者講習（SAT）開始の挨拶（押手、萩生田）</li> <li>②受講者名簿を基に受講者チェック（名簿は12名 欠席3名 9名で開始）</li> <li>③自己紹介（受講者全員）</li> <li>④研修スケジュールの確認</li> </ul> <p>【SESPP 事業内容説明】</p> <p>【技能評価者事前講習テキスト説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①全員が SAT 経験者ではあったが詳細に説明</li> </ul> <p>【2 級の実技試験問題解説】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①スタジオに 2 級の実技試験課題の完成品を持ち込み、カメラで映して 3 級との相違点を中心に詳細を説明</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>
<p>10月19日（火） 8:30～16:30</p>	<p>【2 級の作業手順書説明】（3 級との相違点を中心に説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①どうすれば専門家が製作したように綺麗に配線できるのか、という質問に関して、ポイントを説明して理解はできたようである 3 年前に VTM にて実際に実技演習を行っているので、思い出すようにも指導した</li> </ul> <p>【2 級の実技試験実施要領説明】（3 級との相違点を中心に説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①2 級の課題 2 についても説明はしたが、カンボジアでは実施する予定はなし</li> <li>②無通電試験、通電試験に関しては詳細を説明し理解を頂いた</li> <li>③端子台取付けパターン表にて説明（3 パターン中、当日抽選で決定）</li> </ul> <p>【2 級の実技採点基準説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①基本的には 3 級と同様の基準と説明</li> <li>②採点は 100 点からの減点方式であることを説明</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>

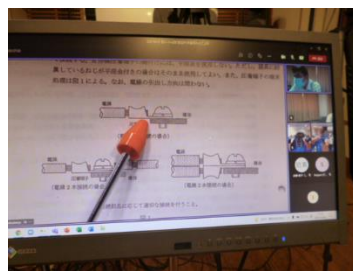
10月20日(水)  
8:30~16:30

【2級の実技採点基準説明(前日からの続き)】

- ①採点基準に対して、細かな質問があり(例えば、無駄穴とはどう言う状態の事を言うのか、器具曲がりの見方等)2級の実技試験課題(パネル)の現物を見せながら具体的に説明
- ②配線作業で減点項目の、配線落ち・配線未完了・誤配線について具体的に説明(無通電試験、通電試験で殆どカバー可能)ただし、ヒューズの入出力の入れ違いは、正しく動作するが回路図通りではない項目で減点する事を説明し理解を頂いた
- ③作業態度の減点項目について、具体例(作業区域の清掃状態と盤面の清掃状態について)を出して説明し理解を頂いた
- ④作業時間では、損失時間について説明(実技試験時間に昼食を挟む場合)し理解を頂いた(記載方法に注意)
- ⑤各減点の集計方法、得点の算出方法を説明し理解して頂いた

【2級の実技採点要領説明】

- ①採点集計表を基に5名までの採点表記載方法、集計方法を説明
- ②アセッサー、アシスタントアセッサーの採点箇所を明確にして確認
- ③21日の採点方法研修での各役割分担を受講者で話し合い決定
- ④アセッサー採点は3人で実施、アシスタントアセッサーは一人で同じ採点項目を全ての作品に同じレベルで採点(公平性)をする  
順次、次のアシスタントアセッサーが同様に採点を実施して行く  
無通電試験及び通電試験は慣れたアシスタントアセッサーが実施するように指導
- ⑤採点方法を説明:
  - ・不適合箇所を発見したら、荷札に不適合箇所の英文字と不適合箇所数を記載する
  - ・アセッサーが確認して訂正があれば訂正し、正しければレ点をする
  - ・その荷札を見ながら不適合箇所の英文字不適合内容と不適合箇所数読み上げ、採点集計表へ転記をし、荷札のレ点に○印をする。
  - ・最終的に荷札全てにレ点と○印があれば不適合全てが採点集計表へ転記が完了した事になる

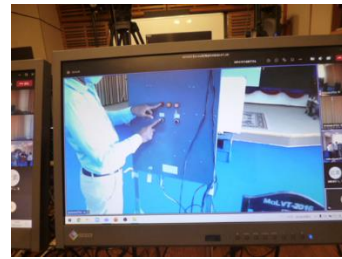


10月21日(木)  
8:30~16:30

【採点方法研修】

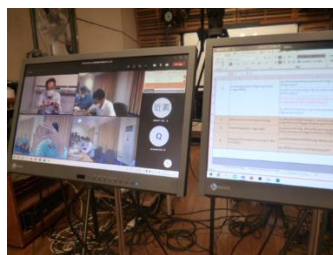
- ①実技試験のスケジュール、注意事項、各器具の設定方等を白板に記載
- ②各アセッサー、アシスタントアセッサーの役割分担を確認
- ③(3級課題ではあるが)1台完成して提出するところから採点演習をスタート
- ④アセッサー採点実施(不足、間違いはその場で指導)
- ⑤アシスタントアセッサーの採点実施(全項目に対して不足、間違いはその場で指導)
- ⑥アシスタントアセッサーが採点した荷札をアセッサーが確認して最終不適合を確定
- ⑦確定した荷札に記載されている不適合内容を採点集計表に転記(共にダブルチ

- エックで漏れ、間違いがないか確認しながら実施)
- ⑧採点集計表の A～E までの小計を算出して、集計表に転記して最終得点、合否を明記
  - ⑨3 人のアセッサーが全ての採点集計表を確認が取れたら、全ての採点集計表にサインする（集計表の記載は全て消せないボールペンで記載）



10月22日(金)  
8:30～15:20

- 【評価者チェックシート】**
- ①準備・実施・採点評価の準備について、事例を入れながら（特にリスク対策について）説明
- 【来年度トライアル実技試験・学科試験課題検討】**
- ①実技試験問題は2級の課題1のみで実施。ただし標準時間を5時間（日本人でも標準時間の4時間15分での製作が厳しいため）とすることを受講者と検討した（延長時間は30分）
  - ②学科試験問題は、真偽法（正しい場合レ点、間違っている場合×）と多肢選択法で実施する方向で確認（2級は初めてなので、日本の講師が作成）
- 【アンケート作成】**
- ①QRコードを読み取り、FORMSにて各自で実施すると自動的に事務局に転送
  - ②同様に上長管理者にもアンケート実施を依頼
- 【反省会（講評&質疑応答）】**
- ①今回初めてのリモート研修について、途中停電及び音声不通等あったが概ね上手く実施され、成果も得られた
  - ②2級の課題としては初めての実施であったが、理解が得られた
  - ③来年度実施される場合、トライアルを主目的に実施する
  - ④受講者からの発言を聞き、今回の研修は理解できた事を確認した



### 3. 講評

今回のカンボジア研修は3年ぶりとなり、リモートでの研修は初めての方法で、2021年10月18日～22日までの1週間、西八王子のスタジオで研修が実施された。研修中にはカンボジアで停電が数回あり中断する場面もあったが、大きなトラブルもなく予定していたSAT研修は無事終わることができた。今回のSAT研修は、初めて2級の課題で実施したが、受講者全員（当初12名予定が最終参加者8名）3級SAT経験者と言う事もあり、3級との相違点を中心に詳細を説明し、質問も多く出された中で理解を頂いた。もし来年度にカンボジアで研修が実施されれば、トライアルを主目的に実施ができればと思う。

### 4. アンケート結果

<SAT>

◆評価者8名（回答者8名）

満足度：	大変満足=6人	満足=2人
役立ち度：	大変役立つ=7人	役立つ=1人
継続性：	是非継続すべき=6人	継続すべき=2人

【改善点・提案】

- 来年も引き続きこの研修を実施して欲しい
- トライアルの際には専門家にカンボジアに来てもらいたい

【意見・感想・実施希望】

- 配電盤制御盤組立て（6）
- モーター巻き線
- カンボジアの人材育成のために、配電盤制御盤組立ての全ての級の研修を実施して欲しい

◆現地責任者1名（回答者1名）

継続性： 継続すべき=1人

【改善点・提案】

特になし

【意見・感想・実施希望】

来年も引き続きSESPPの研修を実施して欲しい